

活動報告（7月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：耕畜連携の取組である飼料用トウモロコシ生産ほ場を巡回しました

日時：令和7年7月9日（水）

場所：静岡県浜松市・磐田市



【飼料用トウモロコシ生産ほ場巡回の様子】

7月9日（水）に、西部耕畜連携協議会が耕畜連携の取組として進めている飼料用トウモロコシの生産ほ場（浜松市・磐田市）を関係機関で巡回しました。

巡回では、畜産技術研究所の研究員を招き、現在の生育状況の確認や収穫時期の予測、栽培技術・ほ場管理の改善点等について助言をいただき、協議会メンバーである耕種農家5人と情報交換を行いました。

巡回した7ヶ所のほ場は、播種時期や栽培環境、土壌が異なるため、生育スピードや雑草・害虫の発生状況等が異なっていましたが、どのほ場も概ね生育良好でした。

飼料用トウモロコシは今後収穫時期を迎え、最終的には牛の飼料となります。牛にとって栄養価の高い良質な飼料を生産するため、収穫適期（黄熟期）を逃さないよう、熟度を確認することの重要性を耕種農家に伝えました。

西部農林事務所では、引き続き、西部地域の耕畜連携の取組を支援していきます。